

熊本県水俣市

## 森林環境保全のため全量国産材を使用 「環境と地域の未来」を見据えた経営

国産材の一大生産地である九州の再生可能な森林資源を有効活用した九州唯一の合板メーカー。国産材の利用比率は、業界平均6割を大幅に上回り、全量国産材を使用する。合法木材認定、森林認定（FSC・SGEC）を取得、使い勝手のいい輸入材よりも、地域の森林保全に繋がる国産材の使用に強くこだわる。また、地域での雇用、地域の企業との連携に積極的に取組み、九州地域の林業活性化に貢献する、地域密着型企业である。

●所在地	熊本県水俣市袋赤岸海50番地	●設立	1975年
●電話/FAX	0966-63-2141/0966-63-2145	●資本金	14,250万円
●URL	<a href="https://www.shin-ei-style.co.jp/">https://www.shin-ei-style.co.jp/</a>	●従業員数	235人
●代表者	代表取締役社長 古澤 憲司		



### 合板には不向きとされた国産材を活用した合板が好評

地域の森林環境保全のため使用する木材の全てを合法的に伐採された九州産の杉・ひのきに転換。これまで合板に不向きとされてきた国産材の節やヤニ・反り・ねじれ等を、生産技術の向上や加工法開発により克服。木造住宅や大型木造施設向けの耐久性・耐震性に優れた構造用合板や、治山工事やマンション工事向けの国産材コンクリート型枠用合板が市場で好評である。また、建具の骨組に使われる単板積層材や断熱材を挟み込んだ断熱機能つき下地材等の高付加価値製品も高い評価を受けている。



同社の構造用合板を使用した住宅

### 目指すは九州の発展、そして地球環境の保全

地域・地球環境の未来を見据えた経営を行う。森林環境保全については、ひのき苗木の植栽活動推進を目的とした基金の設立・地元の森林再生基金への寄付に取組む。地域の発展にも積極的で、熊本地震の際は、自社製品の構造用合板5,500枚を被害の大きかった地域へ提供したほか、義援金3,000万円の寄贈を行った。その他にも、全従業員を地元及び近隣市町から雇用したり、輸送面では地元輸送業者との契約締結、地域イベントにスポンサーとして参加するなど、地域経済活性化に貢献している。



ヒノキ造林を積極的に推進

### 「木質文化」を担うメーカーとして世界を意識

平成30年度森林・林業白書にも明記された政府の戦略のなかに、合板等の木材製品輸出拡大に向けた取組が掲げられた。農水省と業界団体が連携し海外市場調査や日本産木材品のブランド化を進めているなか、グループ会社全体で、国産材の杉・ひのきを活用した構造用合板の輸出による海外市場獲得について検討を進めている。従来の防腐合板より大幅なコスト削減を可能にした防虫・防腐・防蟻処理済み合板や、断熱性と強度に優れた高機能製品の開発等、さらなる国産材合板の需要拡大を狙う。



施工の容易性・強度性能に優れた合板